

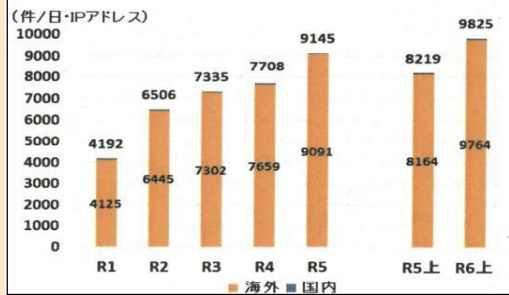
ふくしま技術情報不正流出防止ネットワーク

Fukushima Prevention Network for Illegal Leakage of Technological Information

サイバー空間をめぐる脅威

- ◆ 近年、世界各地で重要インフラの機能停止や機密情報の窃取を企図したサイバー攻撃が相次いで発生しており、日本でも被害が発生しています。
- ◆ サイバー攻撃の前兆ともなるぜい弱性探索行為等の不審なアクセス件数は、増加の一途をたどっており、その大部分が海外を送信元とするアクセスとなっています。(右図)

【ぜい弱性探索行為等の不審なアクセス件数の推移】



ぜい弱性とは？

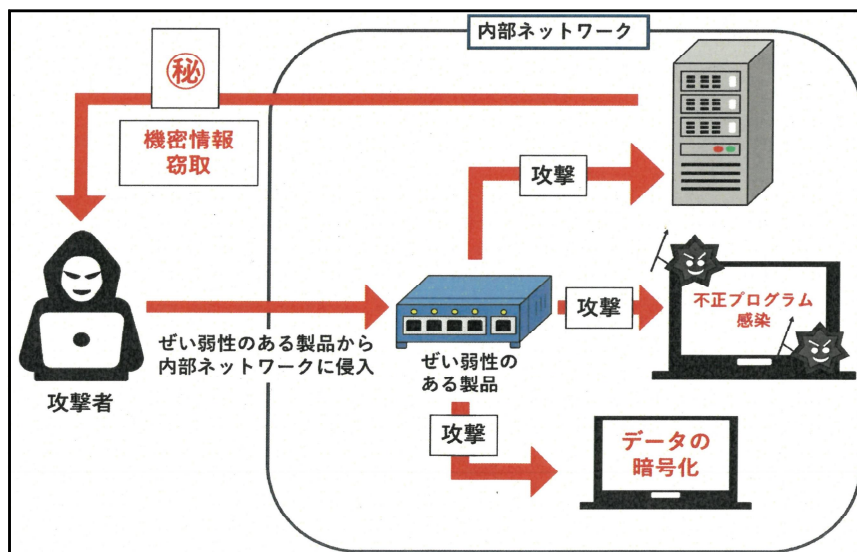
「ぜい弱性」とは、コンピュータのOSやソフトウェアにおいて、プログラムの不具合や設計上のミスが原因で発生するサイバーセキュリティ上の欠陥のことです。

ぜい弱性は、セキュリティホールとも呼ばれ、ぜい弱性が残された状態でコンピュータを利用していると、不正にアクセスされたり、ウイルスに感染する危険性があります。

(総務省「国民のためのサイバーセキュリティサイト」より抜粋)

悪用の危険性

攻撃者は、ぜい弱性があるネットワーク機器を攻撃の足掛かりとして、内部ネットワークに侵入し、不正プログラムへの感染や機密情報の窃取、ランサムウェアによるデータの暗号化等の攻撃を行います。その結果、攻撃を受けた事業者は、被害拡大を防止するためにシステムの運用を停止せざるを得なくなる場合や、業務に必要なファイルが暗号化されることによって業務継続に影響が及ぶ場合があります。



左図で、ぜい弱性を放置することの危険性を確認してください。



対策について

- ◎ 自組織で使用している機器のぜい弱性を放置することなく、各製品の販売業者が公表している助言等を基にファームウェア(※1)のアップデート、侵害の有無の確認等の対策を確実に実施してください。
平素からぜい弱性情報やアップデートに関する情報を確認し、対処することが必要です。
- ◎ 管理外のネットワーク機器が存在しないか確認することも必要です。
- ◎ システム保守を外部委託している場合は、ぜい弱性の対処が保守契約に含まれているかを確認し、対処が適切に実施されていることを確認することも重要です。

(※1) ハードウェアを動かすためのソフトウェアのこと。

悪用の危険性の高い重大なぜい弱性の例

- 悪用されるとネットワーク機器に侵入されるおそれのある重大なぜい弱性に関する情報が令和6年上半期、複数公表(下記に例示のとおり)されており、国内又は海外でこれらのぜい弱性を悪用する攻撃が発生したことが公表されています。
- 該当製品を使用している場合、サイバー攻撃の被害を防止するため確実な対処が必要になります。

● Ivanti社：VPN製品及びネットワークアクセス制御製品

令和6年1月、Ivanti社は、同社のVPN製品であるIvanti Connect Secure 及びネットワークアクセス制御製品であるIvanti Policy Secure ゲートウェイについてそれらのぜい弱性(CVE-2023-46805 及び CVE-2024-21887)に関する情報を公開

※ <https://forums.ivanti.com/s/article/CVE-2023-46805-Authentication-Bypass-CVE-2024-21887-Command-Injection-for-Ivanti-Connect-Secure-and-Ivanti-Policy-Secure-Gateways>

● Fortinet社：次世代ファイアウォール製品及びWebプロキシ製品

令和6年2月、Fortinet社は、同社の次世代ファイアウォール製品に搭載されている FortiOS 及びWebプロキシ製品である FortiProxy におけるぜい弱性(CVE-2024-21762)に関する情報を公開

※ <https://www.fortiguard.com/psirt/FG-IR-24-015>

● Palo Alto Networks社：次世代ファイアウォール製品

令和6年4月、Palo Alto Networks社は、同社の次世代ファイアウォール製品に搭載されている PAN-OS ソフトウェアにおけるぜい弱性(CVE-2024-3400)に関する情報を公開

※ <https://security.paloaltonetworks.com/CVE-2024-3400>

● Check Point Software Technologies社：次世代ファイアウォール製品

令和6年5月、Check Point Software Technologies社は、同社の次世代ファイアウォール製品のVPN機能におけるぜい弱性(CVE-2024-24919)に関する情報を公開

※ <https://support.checkpoint.com/results/sk/sk182336>